



国際通貨基金

コミュニケー
ション局

プレスリリース No. 15/540
即時解禁
2015年11月30日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

IMF 理事会、特別引出権 (SDR) バスケットの見直し完了、 人民元を構成通貨に採用

国際通貨基金 (IMF) 理事会は本日、特別引出権 (SDR) 構成通貨バスケットの 5 年ごとの定期見直しを終了した。今回の見直しの主要課題は中国人民元が構成通貨に含まれるための現行基準を満たしているかであった。本日、理事会は人民元がすべての基準を満たしており、2016年10月1日に自由利用可能通貨として人民元を米ドル、ユーロ、円、英ポンドとともに SDR バスケットの 5 番目の構成通貨とすることを決定した。構成通貨の新バスケットへの変更は 2016年10月1日となり、IMF、IMF 加盟国及びその他の SDR 利用者がこうした変化に対応するに十分な時間を与えるものである。

この理事会の終了にあたり、IMF のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は次の声明を発表した。

「人民元を SDR 構成通貨に含むとする理事会の決定は、中国経済を世界の金融システムに統合していく上での重要な一里塚である。同時にこの決定は中国当局が同国の通貨金融システム改革で過去数年にわたり成し遂げた前進の承認でもある。こうした努力の継続と深化は、より堅固な国際通貨金融システムを作り、それは転じて中国と世界の経済の成長と安定を支えることになるだろう」

SDR の価値は、米ドル、ユーロ、人民元、円、英ポンドからなる通貨バスケットの加重平均に基づくものになる。人民元を含むことで、SDR バスケットが多様化するとともに世界の主要通貨をより代表したものになり、SDR の価値を高めることになる。SDR 金利は引き続き SDR 構成通貨の市場の短期金融商品金利の加重平均に基づく。中国当局を含む全ての SDR バスケット構成通貨の当局には、IMF、IMF 加盟国及び他の SDR 利用者の SDR 構成通貨でのオペレーションを促進する政策枠組みを維持することが期待される。見直しにあたり理事会に提出されたペーパーは間もなく公表される。